



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

特別展

大坂・京都の粹すいと技わざ



上方の浮世絵

今、注目の

Osaka Prints

UKIYO-E OF THE KAMIGATA AREA
The Sophistication of Osaka and Kyoto Artists

2014 9/9^火
▶ 10/13^{祝月}

会場 | 山口県立萩美術館・浦上記念館

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400 URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

休館日 | 9月29日(月)、10月6日(月)

開館時間 | 9:00~17:00(入場は16:30まで)

前期 9月9日(火)~9月28日(日)

後期 9月30日(火)~10月13日(月・祝)

観覧料 | 一般1,000(800)円、70歳以上の方・学生800(600)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金です。※18歳以下の方、及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料です。

※前売り券は、ローソンチケット(コード63450)およびセブンチケット(セブンコード032-110)、県内各プレイガイドでお求めになれます。

主催 | 上方の浮世絵展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社・KRY山口放送)、NHKブラネット中国

後援 | 山口県教育委員会、萩市、協賛 | ニューカラー写真印刷株式会社

上方の浮世絵

大坂・京都の粋と技

大坂・京都で制作、版行された浮世絵は、江戸の浮世絵と区別して「上方絵」と呼ばれ、浮世絵のあるいは「上方浮世絵」と呼ばれ、浮世絵のなかで一つのジャンルを形成しています。欧米では「Osaka Prints」などと呼ばれ、日本国内よりもむしろ海外で高く評価されてきました。上方絵は役者絵が大半を占めますが、男性役者が女優を演じていることがはつきりと分かる役者似顔や、アクの強い人物描写が海外で受け入れられたのです。

ここ数年の間、国内で行われた浮世絵の展覧会のなかにも、上方絵を展示の一部に取り入れた企画がいくつかあり、上方絵は今、注目を集めはじめています。また、調査研究が進むにつれ、国内には多くの上方絵が眠っていることが明らかになってきました。

このような動向を踏まえ、本展覧会では最新の研究成果をもとに国内所蔵品212件を展示し、約40年ぶりに「上方絵」を通覧します。

アクの強い役者たち!



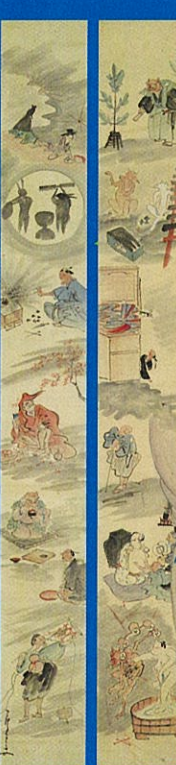
大坂美人に



笑いもあります!



京美人!



① 春好斎北洲「三代目中村歌右衛門の金輪五郎今国と四代目嵐小六のおみわ」(部分)文政4年(1821) 神戸市立博物館蔵(前期展示) ② 西川祐信「四季風俗図巻」(部分)享保期(1716~36) 千葉市美術館蔵(通期展示、ただし前期後期で展示箇所替えあり) ③ 三浦上龍「犬と美人図」天保期(1830~44) 熊本県立美術館蔵(前期展示) ④ 有楽斎長秀「四代目市川團藏の老女あかしと初代藤川友吉の景任妹しをり」文化4年(1807) 阪急文化財団池田文庫蔵(後期展示) ⑤ 柳斎重春「四代目中村歌右衛門の越後獅子」天保9年(1838) 山村流六世宗家 山村友五郎氏蔵(通期展示) ⑥ 紙園井持「歌妓恵以路園」寛政期(1789~1801) 熊本県立美術館蔵(後期展示) ⑦ 春好斎北洲「初代嵐橋三郎の髪合わせ」文政4年(1821) 頃 阪急文化財団池田文庫蔵(前期展示) ⑧ 耳鳥斎「十二月月図」天明~寛政期(1781~1801) 関西大学図書館蔵(後期展示)

関連イベント

◆ 記念講演会「眠りから覚めた上方浮世絵」
9月14日(日) 13時30分~15時 講座室
講師 北川博子氏(本展監修者、阪急文化財団)
座席数84席 当日受付先着順 聴講無料

◆ 落語寄席「上方落語・絵画の世界」
10月4日(土) 13時30分~14時30分 講座室
出演 林家染雀氏
座席数84席 当日受付先着順 参加無料

◆ 月夜のナイトミュージアム
担当学芸員の解説を聞きながら鑑賞する、ナイトギャラリーツアー
10月10日(金)、11日(土)、12日(日) いずれも18時30分~20時(予定)
要事前申込・定員各日30名程度 参加無料
※申込者多数の場合は抽選。発表は10月6日(月)頃、ハガキ(参加証)の発送をもっておこないます。

◆ 申込方法 参加希望者全員の①名前・年齢 ②住所 ③連絡先 ④希望日を
ご記入の上、9月30日(火)までにFAX(0838-24-2401)またはハガキにて美術館までお申込みください。

◆ ギャラリーツアー 学芸員による列品解説
毎週日曜日の11時~12時 本館2階展示室 要観覧料

◆ 同時開催 後期浮世絵の美人画
9月9日(火)~10月5日(日)

◆ 次回展覧会 「泥象 鈴木治の世界―使つ陶から観る陶、そして詠む陶へ―」
11月1日(土)~12月23日(火、祝)

交通のご案内



- ◆ 「新山口駅」から
防長バスまたは中国1Rバスで
秋バスセンター下車
秋バスセンターより徒歩約1~2分
- ◆ 「山口宇部空港」から
秋近鉄バス(乗車約15分)約7.5分
(利用日までに要予約)
- ◆ 「秋・五島港」から
秋近鉄バス(乗車約15分)約7.5分
(利用日までに要予約)
- ◆ 「JR東萩駅」から
タクシー約7分
徒歩約30分
- ◆ 「JR東萩駅」から
タクシー約7分
徒歩約30分